



## 例会報告：2015年3月17日（晴れ） 第1882回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2015年3月17日 12：30～13：30

### ❖ 会長挨拶



#### 齋藤 永 会長

公務で2週連続お休みしてしまい申し訳ありませんでした。その間太田副会長が挨拶を行ってくださいありがとうございました。昨日で松田の桜まつりは終わりましたが今も満開です。お時間がある方はご覧になってみてください。議会も先週で全て終了いたしました。まだ最中の所も予算

の時期で大変でしょうが、どうぞ頑張ってください。2/28に小田原・済州島少年サッカー大会に参加してきました。小田原地区で開催されるサッカーとバドミントンの国際大会です。城北ロータリーの寄附に対するお礼もいただきました。サッカー繋がりと言うと、Jリーグも開幕いたしました。初戦3/7我々の地区のベルマーレとレッズの試合をBMWスタジアムで観戦しました。最終的には負けてしまいましたが、これからサッカー熱はどんどん上がってくると思います。私は年間シートを持っていますのでサッカー好きな人は声をかけてください。

今月はお別れの季節です。卒業式など続いてお忙しい方も多いでしょう。来月には迎え入れの季節となります。我がクラブでもお辞めになる方もいれば、また新しく鈴木さんが入会してくださいました。50名弱のクラブですが諸先輩方や周りの方に色々なことを聞いて早く馴染んで、クラブの先頭になっていたように願っています。

今日は木村エレクトがPETS報告をしてくれます。覚えることが山のようにある長い研修お疲れ様でした。報告をよろしく願います。

### ❖ 幹事報告

#### 大川 久弥 幹事



1)本日入会されました鈴木竜哉会員の所属委員会は、会場監督と青少年奉仕委員会になりましたので、委員長さんにはご指導の程宜しくお願い致します。5人グループは西さんがリーダーのグループに所属して頂きます。

2)残念なお知らせですが、一寸木信雄会員より3月末日付での退会届が提出され、本日の持ち回り理事会に於いて承認されました。またお仕事の方が落ち着きましたら再入会をお待ちしております。

### ❖ 委員会報告

#### 国際奉仕委員会・本多委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
3月17日	49(46)	35	2	80.43%
3月10日	48(45)	35	1	82.22%
3月3日	48(44)	35	1	81.82%

【欠席者】11名  
菊池 義雄、一寸木 芳行、石崎 孝、杉崎 勝成、上田 博和、石内 正彦、荻野 善明、木村 啓滋、志澤 昌彦、一寸木 信雄、岩橋 武子  
【今回MU】2名  
石崎 孝 (3/16 AG会議)  
杉崎 勝成 (3/5 米山)  
【前回MU】1名増加  
石崎 孝 (3/11 PETS)  
【前々回MU】増加なし

### ❖ 卓話

#### 「PETS報告」



#### 木村 頼弘 会長エレクト

3月11日会長エレクト研修セミナー（PETS）に行って参りましたのでご報告いたします。午前10時から休憩をはさんで午後6時まで長時間、講習を受けてきました。今日のセミナーの内容をなるべく簡単にお話したいと思っております。先ず、午前の部は次年度RIのテーマ・方針、及び地区の運営方針と予算の承認等が行われました。そして、基調講演として、パストガバナーの後藤さんより「クラブ・リーダーシップ・プラン 元気なクラブをつくるために」という講演がありました

それでは、次年度のRIの会長と次年度のテーマについてお話ししたいと思います。

次年度のRIの会長はスリランカのKR ラビ・ラビンドランという方で、紅茶のティーバックを製造する上場企業の経営者です。

また、経歴はスリランカ最大の麻薬防止団体の会長もされております。またポリオプラス委員長として、ユニセフと政府機関と協力しスリランカの武装組織に一時停戦をさせ全国一斉にポリオの予防接種を実現したという実績をもっておられます。その他、現在はスリランカの津波によって破壊された25の学校を再建し15,000人の生徒を支援しています。ロータリー歴は40年でRIの理事・財務長・財団管理委員・RI研修リーダー・地区ガバナー等、多くの役職を歴任されております。

そして、次年度のRIのテーマは「**世界へのプレゼントになる**」です。日本語の表現としては少し言い回しがしっくりきませんが、「世界へのプレゼントになる」がテーマに決まりました。これは、どうゆう意味かと言えば、「人は地位とか身分に関係なく、才能・知識・能力は誰もが持っているものです。その、与えられた個々の才能・知識・能力をロータリーを通じて、世界の苦しんでいる人々から目をそらすことなく、献身と熱意をもってプレゼントしよう。そして世界に真の変化をもたらそう」という非常に奥深い意味合いが有るそうです。

次に地区の運営方針についてですが運営方針は7項目あります。

**1番目は奉仕活動を積極的に**  
先ず、5大奉仕活動に今まで以上に積極的に取り組んでほしいという事です。新しい会員の方でわからない方はこれを機に覚えて下さい。Rの5大奉仕＝職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕の事です。そして、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金を理解し大いにチャレンジしてほしいということです。それと皆さんご存知のポリオ撲滅活動を最優先に取り組んでほしいということでした。

**2番目は公共イメージの向上**  
マルチメディア等を利用して、その中で奉仕活動を広め、RCの影響力をロータリーを知らない人たちに教えよう。そして、自分自身またはクラブが尊敬される存在になろう。また、ロータリーデーを市民参加の行事として実践しよう。新たに、公共イメージを積極的に行ったクラブを表彰しましょう。

#### 3番目は寄付の理解をお願いしたい

R財団に一人 200ドル以上の寄付、米山記念奨学事業に 一人 2万円以上の寄付、ポリオ撲滅活動 一人 40ドル以上の寄付、ベネファクター 1クラブ1名以上（1人1,000ドル）50名以上＝2名、これらの寄付を行う場合は、担当委員会はクラブ会員に必ず説明をしてから寄付を受けてほしい。

#### 4番目は会員増強を10パーセントに

2780地区のクラブの平均会員数は37名ということです。1クラブ3～4名の増強となり、その気になれば必ず達成できるということです。また、会員増強の目的または意味として本来は、ロータリーの精神をもっと多くの人に広め、奉仕を通じて困っている人達に手を差し伸べよう という考えだったと思います。しかし、今は、会員減少により、予算が不足し活動に支障をきたすので、予算確保のために増強に力を入れているといった傾向にあるという事です。予算が不足すれば活動に支障をきたすのは当たり前ですが、目的のバランスが本来の趣旨から少しずれ会員増強の意味を今一度考えてみましょうという事です。

#### 5番目は中核的価値観を出席や参加を多くして学ぼう

この中核的価値観とは、例えば、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会国際大会の事です。これらの行事に出席するという事は、義務ではなく権利であると。そしてそこで学んだ多くの事は、自分の人生やロータリーに必ず役に立つということです。積極的に参加してくださいという事です。

#### 6番目はオンラインツールの利用促進

MY ROTARYへのアカウント登録を、会員の50%以上を目指してください。良く分かりませんが、インターネット上にMY ROTARYというものがあり、それに登録してロータリーの情報を閲覧して知識を広めて下さい。

#### 7番目は特別月刊の大幅な変更をご理解ください。

次年度からの新しい月刊の内容は「経済と地域社会の発展月刊」「疫病予防と治療月刊」「平和と紛争予防月刊」「水と衛生月刊」「母子と健康月刊」「青少年奉仕月刊」等が新しく追加されましたので、月刊に関連した事柄をなるべく実践して下さい。

次に基調講演について（元気なクラブをつくるために）まず、会員数の減少の推移について話があり、世界全体から見れば、会員数は去年111万8500人から今年は122万9200人と約10万人増加しているそうです。しかし、日本を見ると、現在34地区2293クラブあり、ピーク時の1997年の13万人の会員数から毎年減少を続け、現在86,467人まで減っているそうです。2003年～2013年までの10年間で減少した国のトップはアメリカの58,500人日本は第2位の23,300人ですが、パーセントでいうと日本は21パーセントで1位という事です。逆に増加している国の上位はインド・韓国・ドイツ・台湾等があります。中でも当地区は入会5年以下の会員数が全体の53%を占めており、また中間層が少なく、若い会員が高齢の会員と2極化の進む傾向が出ているという事です。また、女性会員は4パーセントです。

また、今現在のロータリーの課題としてロータリーは難しい事柄が多すぎると。様は、使われている用語もまた、助成金をもらう申請も何かと複雑で良く分からないことが多いという事です。具体的な事柄は無かったですが、その結論が、難しいことをもっと優しくしようと、優しくしたものをもっと深く考えようと、そして、その深く考えたことを積極的に楽しく奉仕に結びつけようと、こういった考えで今後のロータリーに取り組んでいきたいということです。

次は午後の部ですが、分科会・R財団・米山奨学・姉妹地区といった内容です。まず、分科会ですが7・8人のグループに分かれ、討論形式で行われました。

#### 1 最初の課題は 「クラブ会長の役割と責務」についてと言う

課題です。参加された方はまだ、時期が早いせいか、具体的な方針は決まっていない方が多いようで、私もクラブ会長の役割、正直その場ではまだ考えがまとまっていませんでしたので、具体的な発言は出来ませんでした。会長としてクラブをまとめるのは当然のことですが、当クラブは幸いにも次年度はIMのホストクラブでもあり、周年行事も控えているので、それを機にもっとクラブが一致団結出来るようにと考えております。そして、奉仕委員長また各委員長にはたったの1年ですので、自分の想いがあれば思い切り活動に生かしてほしいと思っています。また、細かい事や余計な事は言いませんので、個々の皆さんの能力を思う存分発揮して頂きたいと思っています。

**2 会員増強・会員維持について話し合いが行われました。** 増強については、若い会員が多いクラブほど、会員の増強がうまく進んでいるという話があり、様は、若い会員が自分の友達や仕事関係から誘ってくる確率が非常に高くなっている。ベテラン会員さんはもう勧誘する人材も減ってきて、限界がせまっているのではないかと。世代交代の意味も含めて、一人でも多くの若い会員さんを増やしましょう。といった意見が多かったです。

**会員維持については、**これは3年未満の会員が対象ですがスポンサーの心構えということで、新会員が入会したら、きちんと面倒を見る。クラブ全体で新会員の事を意識する。定期的にロータリー情報委員会が知識を教えるだけではなく、サポートする。退会の原因は例会がつまらないのではなく、例会で孤立することが大きな原因であり、皆で声を掛けたり、誘ったり、そしてロータリーの楽しさも教えましょう。

**次は、R財団・米山奨学について話がありました。**まず、R財団ですが私が最も、いまだに良く分からない分野です。内容は、地区補助金・グローバル補助金・高校生奨学金などの話で良く理解していない私が話すと、皆様に間違った情報を与える事も良くないし、かなり長時間になるので、ここでの報告は控えめです。活動報告や詳細についてインターネットに詳しく載っております。あと、R財団の最大の活動としてポリオ撲滅活動がありますが報告によると、昨年迄はポリオ・ウィルスの感染国はアフガニスタン・ナイジェリアパキスタンの3カ国でしたが、現在はパキスタン、一国だけということで99%撲滅する事が出来、残り1パーセントを切ったという報告がありました。

**R米山奨学記念事業ですが、**簡単に言えば、日本で学ぶ外国人留学生（大学生・大学院生）に対して、支援する民間の奨学団体の事です。財源は私達ロータリアンの寄付によりまかなっております。昨年は日本では724人の学生に支援をしましたが、国籍別に見ると、中国の学生が全体の40.7%次に韓国が15.7%、ベトナムが9.7%となっており、世界から見ても、中国が33%韓国が23%台湾が19%となっておりかなり国籍のバランスに偏りが見られるのももっと平均化しようという方向に向かっています。

寄付金の事ですが、2780地区は1人平均15,200円で全国で第5位となっております。また、頂いた寄付は全額支援に使われ、管理費などは全て利息でまかなっているということです。あとは、学友会や税制優遇といった内容の話がありました。（裏面へ続く）

